

「診断推論」という言葉は今や臨床医の共通言語になりました。その基本的な考え方は「鑑別診断の想起」「見逃してはいけない疾患」などのフレーズとともに医療の現場にも浸透しています。

そこで今回は、もう一步アドバンスなセミナーを企画しました。

科学的に正しい診断名をつけることにこだわるのではなく、「目の前の患者のアウトカムをよくするにはどうしたらよいか？」という視点から診断を考えられるようになることを目標とします。

アウトカムがよくなるとは、①Death (死亡) ②Disease (Illness)(疾病 (病気)) ③Discomfort (不快) ④Disability (機能障害) ⑤Dissatisfaction (不満足)の『嫌な5D』が減ることを意味します。

これらを診断と結びつけるためにどう考えるのか勉強しましょう。

参加費
無料

福島診断推論セミナー アドバンス編 (白河FACE)

日時 2017年2月25日(土)

場所 白河厚生総合病院

対象 医学部生・臨床研修医・後期研修医

※必要事項を裏面FAX送信票またはE-mailにご記入の上、2月15日(水) (定員30名)までにお申し込み下さい。

プログラム (予定)

12:30~13:00	受付
13:00~14:20	「チーム対抗症例クイズ」 福島県立医科大学 矢野 徹宏 先生
14:30~15:50	ワークショップ「見逃し症例から学ぶ診断推論(仮)」 白河総合診療アカデミー 林 理生 先生
16:00~18:00	ワークショップ「患者の価値観を取り入れた診断推論」 名古屋第二赤十字病院 野口 善令 先生
終了後	懇親会



メイン講師
名古屋第二赤十字病院
野口 善令 先生

※開催日前後に福島医大へ病院見学をしていただくと、交通費を支給することもできます。
(上限3万円まで・県外医学部学生対象)
詳しくはお問い合わせ下さい。

【主催】福島県臨床研修病院ネットワーク連絡会議
福島県立医科大学医療人育成・支援センター
【後援】一般社団法人福島県立医科大学光が丘協議会

福島県立医科大学 医療人育成・支援センター(CMECD)

〒960-1295 福島県福島市光が丘1 TEL:024-547-1047/FAX:024-547-1715

E-mail: cm-entry@fmu.ac.jp / http://www.fmu.ac.jp/home/cmecd/index.html



福島診断推論セミナー アドバンス編(白河FACE) 誰も教えてくれなかった診断学

日時 2017年2月25日(土) (受付 12:30)

場所 白河厚生総合病院 (福島県白河市豊地上弥次郎2-1)

参加申込先

FAX

024-547-1715

下部のお申し込み票に必要事項をご記入の上、上記FAX番号まで送信してください。

E-mail

メールアドレスが変更になりました

cm-entry@fmu.ac.jp

下部お申し込み票に記載されている必要事項をメールにて上記アドレスまたは右QRコードにて送信してください。



お申し込み票 FAXもしくはE-mailで 2月15日(水)までにお申し込みください。

氏名 (フリガナ)	性別 男 ・ 女
所属	
卒業年次	年度卒業 または 年生
住所・電話番号	〒 TEL
メールアドレス	
このセミナー (FACE)に参加したことがありますか?	ある ない
参加動機	
どのようにして本企画を知りましたか? (ホームページ、チラシ ほか)	
懇親会 (どちらかに○をおつけ下さい)	参加する 参加しない

アクセス



交通機関

- お車でお越しの場合
 - ・白河中央スマートIC(ETC専用)から約1分
 - ・白河ICから約10分
 - ・矢吹ICから約15分
- 電車をご利用の場合
 - ・JR白河駅よりタクシーで約5分
 - ・JR新白河駅よりタクシーで約10分